

## 【こどもまつり 2020 団体紹介④】

### ラソダンススクール @十日町おやこ劇場



[ラソダンススクール Facebook](#)

ラソダンススクール ブログ : <http://lazodance.blogspot.com/>



#### <ラソダンススクールとは>

#### －基礎重視、ダンス以外でも通用するからだ／こころづくりを目指しています－

年少～の子ども達を対象に、モダンバレエやジャズダンスを教えています。

内容としては**基礎**を重視しています。

身体の柔軟性やバランス、体幹、筋力、リズム感を鍛え、表現力や感性を磨くことで、ダンスはもちろん他のスポーツでも通用するような、一生涯を通したからだ／こころづくりを目指しています。

「ラソダンススクール」の『**ラソ(lazo)**』はスペイン語で『**絆**』という意味を持っています。



川西文化祭発表のようす①

初心者のお子さんでもステージではこんなに頑張ってます！

#### <いつ、どこで、どんな活動をしていますか？>

#### －習熟度に合わせて3クラス、それぞれ週1回練習しています。生徒は随時募集中です－

年齢・レベル毎に3つのクラスで活動しています。

ビギナーとアドバンスは基本、同じ場所でレッスンしています。

(前半はほぼ同じ内容ですが、後半は個別練習などで違いがあります)

それぞれのクラスで、随時生徒は募集しています。

クラス名	エントランス	ビギナー	アドバンス
クラス概要	入門クラス	初中級クラス	中上級クラス
人数 (11/19 時点)	12人	6人	2人
練習場所	千手コミュニティセンター	段十ろう 講堂	
練習日	毎週木曜	毎週水曜	
練習時間	16:45~17:35 (50分間)	16:45~18:10 (1時間25分)	16:45~18:30 (1時間45分)

例年は、毎週のレッスンの他、年3~4回程度発表の場がありましたが、残念ながら今年はまだ11月の川西文化祭での発表のみとなっています。

また今年は残念ながら中止となりましたが、2019年8月に全国小中学生ダンスコンクールにて一次予選を通過し、新宿文化センターでの東日本大会に出場しました。是非毎年出れたら、と子供たちは頑張っていましたので、来年はぜひ開催されると嬉しいです。

## <昨今の新型コロナウイルス感染症禍において、貴団体へどのような影響がありましたか？>

### －子ども達の発表の場が激減し、メンタル面にも影響が出たが、発表会で大きく変わった！－



川西文化祭発表のようす②

花のワルツは、アンサンブルユニット「アレグロ」さんの生伴奏で♪

柔軟性には、「7歳の壁」があり、7歳以前から柔軟を行っている、その後も継続してかなり体を柔らかくしたり可動域を広くしたりできますが、7歳以降から始めた場合、骨の成長度合いにもよりますが、特に股関節の柔軟性を増す事が難しいと言われています。筋力は比較的すぐ戻りますが、一度硬くなってしまった柔軟性はなかなか週1回のレッスンだけでは戻りませんでした。そのため、各家庭でも親御さんに協力してもらいながら柔軟に取り組んでもらいました。

そして、精神面での影響の度合いについては、子どもによってかなり個人差がありました。

元気な子はとても元気なのですが、休校→明けから学校の授業や行事も詰め込みで、体力的にも精神的にも疲れている子や、せっかく練習しても発表する場がないことで、気持ちが落ち込んでしまう子、精神面からきていると思われる、体の不調を訴える子もいました。

ただ、そんな中でもレッスンに来たいという声が多くありました。

予定通りに練習をこなすことももちろん大切なのですが、せっかく練習したいと言っている子ども達がいっぱいにならないように、レッスン中の休憩時間になるべくコミュニケーションを取るようし、子供たちの様子に注意していました。

どういった対応が必要で、何に悩んでいたり困っているかは、子ども達1人1人違います。なので、個々の保護者の方とも連絡を取り合い、一人一人の理解を深め、その子にとってどうしたら良いのか、を一緒に考えました。

## <貴団体では新型コロナウイルス感染症についてどのような対策を実施／予定していますか？>

### －換気や水分補給をこまめに、一人一人が意識的に対策を－

普段のレッスンで以下の対策をとっています。

- ・マスク着用
- ・ソーシャルディスタンスをとっての練習
- ・会場や備品の消毒
- ・こまめな水分補給で熱中症対策も
- ・こまめな換気

マスクをしているとどうしても声がかもってしまい、いつも以上に大きな声を出さないと、レッスン中など指示が出せず大変でしたが、「**コロナウイルス対策助成金**」で購入したマイクを使用することで、大分楽になりました。



川西文化祭発表のようす③

更にクラスが進むと情熱をぶつけるパフォーマンスも！

## <今後の活動について展望をお聞かせください>

### —ぜひ！もっと子ども達に発表の場を—



川西文化祭発表のようす④

生徒さん憧れの彰子先生は、娘さんのピアノ伴奏で

感染症対策をきちんとした上で、普段のレッスンは今後も続けていきます。

そして、子ども達にもっとたくさんの発表の場を提供していきたいと考えていますので、発表の場があればまたぜひ！出たいです。

今回の感染症禍の中で、子ども達にとっていかに発表の場が大切で、**発表の場があるとないのでは、子ども達の様子が全然違うこと**が発表会を実施してみて分かりました。

まず、発表が決まった時からモチベーションががらっと変わり、子ども達の目がキラキラしました。

そして衣装合わせなどで段々と発表会への実感が湧いてくると、それに比例して練習への姿勢も変わり、ものすごい集中力で振り付けを覚えていきました。

発表会が終わってもそれは継続しています。

発表会開催が決まってからずっとバタバタしていて、レッスン時間も足りず追加レッスンをしたりもしたのですが、それでも発表会を実施してよかったと思います。

## <次回開催のこどもまつりについて、何か要望やご意見等ありましたら教えてください>

### —開催・発表できることを最優先に—

密を避ける対策としては、分じろう1階ラウンジの中から発表して、お客様には外から見てもらうのはどうでしょうか？

また、もっと外のスペース(許可が取れれば道路など)を有効活用できないでしょうか？

もし「外」での発表となった場合、多少の不便が発生したとしても、発表できないよりは断然良いです。

また、例年はこどもまつり前日に、会場の分じろうにて当日と同じ条件でのリハーサルをさせてもらっています。来年参加できるなら、それも例年通りお願いしたいです。



川西文化祭発表のようす⑤

本番当日、お姉さん達がリードしてストレッチ

## <その他伝えたいことがあればご自由にメッセージをお願いします>

### - 人前で踊る経験はいくらあってもいいというくらい重要 -



今回お話を伺った代表の大島さん。

子ども達のことを第一に考え、一生懸命レッスンされているところがお話を聞いてよく分かりました

レッスンで大切にしていることは、「子どもにとって何がいいのか？」を考えると、そしてとにかく楽しく！踊ることです。

また、踊る上で一番大切にしている事は、「表現すること、伝えようとする事」です。

踊りは、肉体から出る言葉のないメッセージです。

例え伝わらなくても、伝えよう、表現しようとする事が大切です。

人間の感情は複雑で、悲しいけど嬉しい、嬉しいけど悔しい、そんな様々な感情を音と一体になって表現する。それを表現するには敏感な感性が必要になります。

最大限に表現する為に、柔軟性や筋力は必須ですが、内面がなければ何も感じません。

子ども達には是非、色んな経験をして、感性を豊かに、内側から輝いている、感動を生むことの出来るダンサーになって欲しいと思います。

そして人前で踊るといことは、プロアマ関係なく、どんな小さな舞台だとしても、それだけでものすごい経験値とレベルアップにつながる機会だと思います。

沢山のライトを浴び、音の中に溶け込んでいく感覚や、目の前に広がるお客様の歓声を感じながら、一段高い場所から発表することでの非日常的な高揚感、実際に体験しないと実感できません。

ですので繰り返しになりますが、子ども達にもっとたくさんの発表の場を提供していきたいと考えていますので、発表の場があればまたぜひ！出たいです。